

## 評価会議（平成 28 年度期末）における委員の評価及び意見

## 1 取組実績の評価（1）：事業の実施状況

| 評価点<br>(配点 25 点) | A 委員 | B 委員 | C 委員 |
|------------------|------|------|------|
|                  | 2 0  | 2 2  | 2 0  |

主な意見等

- ・防災という大きなテーマでの活動実績を他の課題対応支援にも活かして欲しい

## 2 取組実績の評価（2）：事業の実施体制等

| 評価点<br>(配点 15 点) | A 委員 | B 委員 | C 委員 |
|------------------|------|------|------|
|                  | 1 0  | 1 3  | 1 0  |

主な意見等

- ・地域からの信頼も高い

## 3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

| 評価点<br>(配点 20 点) | A 委員 | B 委員 | C 委員 |
|------------------|------|------|------|
|                  | 1 5  | 1 5  | 1 7  |

主な意見等

- ・おおむね区の期待通りの支援策を実施している

## 4 取組効果の評価：目標等の達成状況

| 評価点<br>(配点 40 点) | A 委員 | B 委員 | C 委員 |
|------------------|------|------|------|
|                  | 3 0  | 3 0  | 2 9  |

主な意見等

## 5 総合評価

## (1) 総合評価 I

| 項目                               | A 委員 | B 委員 | C 委員 |
|----------------------------------|------|------|------|
| (1) 地域課題等の把握・分析・整理               | B    | A    | A    |
| (2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定 | B    | C    | B    |
| (3) 区のマネジメントに合った取組               | B    | A    | B    |

主な意見等

- (2) ・新しい担い手の発掘につながっている点は評価できる。

- ・イベントの参加者数に目標を持たれたい。
- ・全体の支援戦略が必要。

- (3)

- ・地域差を踏まえ、一律でない支援を実施されたい

## (2) 総合評価Ⅱ

| 項目       | A委員 | B委員 | C委員 |
|----------|-----|-----|-----|
| 総合評価（全体） | B   | B   | B   |

## 主な意見等

- ・ていねいな支援をおこなってきており、その成果も出ている。今後は地域差を踏まえ、地域に応じたメリハリのある支援をされたい
- ・コツコツと支援に取り組まれている様子がうかがえるが、地域活動者の高齢化と個人負担が増加している課題など、今後は、次の段階の支援策の必要性を感じる。
- ・潜在する新たな活動者発掘へのアプローチなど、ワクワクするような「支援策」の提案に期待したい
- ・支援の成果は一定でてきている。新しい広報媒体の立ち上げ等、活動の向上がまだ苦戦しているので、さらなる工夫をお願いしたい

## (評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた  
 A：本市の求める水準以上の効果が得られた  
 B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた  
 C：本市の求める水準の効果が得られていない